

令和5年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【岩槻小学校】

⑥ 次年度への課題と改善策	
知識・技能	
思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度	

① 目標・策			
		目標	策
知識・技能		・全国学力・学習状況調査及びさいたま市学習状況調査の自校結果より国語・算数の「知識・技能」において3pt向上させる。	⇒ スタディサプリ等を活用し、児童一人ひとりが個の課題等に合わせた学習ができるようにする。また漢字や基本的な計算等の反復・習熟に取り組み基礎基本の定着を図る。スタディログ等を通し学習の定着度を確認し、「個別最適な学び」を推進していく。
思考・判断・表現		・全国学力・学習状況調査及びさいたま市学習状況調査の自校結果より国語・算数の「思考・表現・判断」において3pt向上させる。	⇒ 「さいたま市『アクティブ・ラーニング』型授業」の実践を基に、関連付けることや伝えることに重点を置いた授業を実践する。これを通して「個別最適な学び」と「協働的な学び」を連動させ「深い学び」を実現し、思考力・判断力・表現力の向上を図る。
主体的に学習に取り組む態度		全国学力・学習状況調査及びさいたま市学習状況調査「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の質問項目において、肯定的な回答の割合を85%以上にする。	⇒ 毎時間でメタ認知を促す振り返りを行い、「難しい問題も友達のを参考にしながら自分の答えを導き出すことができた」という価値付けをすることで、達成感を味わわせる。校内研修を通して、自分の考えを表現する楽しさを味わい、自ら学びに向かう岩小っ子の育成を目指し指導する。

<小6・中3>(4月～5月)

⑤ 目標・策の達成状況		評価(※)
知識・技能	①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等	
思考・判断・表現		
主体的に学習に取り組む態度		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

② 全国学力・学習状況調査結果・分析	
知識・技能	R5年度全国学力・学習状況調査の「知識・技能」において、国語・算数とも全国平均を下回った。国語では、原因と結果など、情報と情報の関係性を理解することに課題が見られる。算数では、全国平均を上回ったもの、下回ったものばらつきがあり、正答率が下回ったものとしては、図形の意味理解、百分率の割合の理解がある。
思考・判断・表現	国語では、目的に応じて必要な情報を見つけたり、相手の意図に応じて話を整理し、自分の考えをまとめたりすることに課題がある。算数では「数と計算」の領域の、式と場面を関連付けて読み取る問題に課題がある。国語では文章の読み取りを丁寧に扱い、算数では、図・式・言葉を関連付けて考えさせる活動を重視したい。
主体的に学習に取り組む態度	R5年度全国学力・学習状況調査「課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の質問項目においては、肯定的な回答が97%で目標値を大きく上回った。引き続き、主体的な学びの実践に取り組んでいく。

①結果分析(管理職・学年主任等)
②詳細分析(学年・教科担当)

④ さいたま市学習状況調査結果・分析			
小3		小4	
小5		小6	

③ 中間期見直し(全国学力・学習状況調査結果分析後)			
		目標	策
知識・技能		・全国学力・学習状況調査の自校結果より国語・算数について、目標より下回ったため、さいたま市学習状況調査において、国語は1pt向上、算数は2pt向上と修正する。	⇒ R5全国学力・学習状況調査の結果から、「スタディサプリ」や「ドリルパーク」等を活用した反復・習熟に取り組み、理解を図る。
思考・判断・表現		・全国学力・学習状況調査の自校結果より国語・算数について、目標より下回ったため、さいたま市学習状況調査において、国語は1pt向上、算数は2pt向上と修正する。	⇒ R5全国学力・学習状況調査の結果から、自分の考えをまとめたり、必要な情報を関連付けて説明させたりする活動を重視し、アクティブ・ラーニング型授業での練り上げや協働の場の充実を図り、個別最適な学びと協働的な学びの連動を意識して実践していく。
主体的に学習に取り組む態度		全国学力・学習状況調査「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の質問項目において、目標を上回ったため、さいたま市学習状況調査において、90%以上と修正する。	⇒ 毎時間の振り返りを大切にし、学習のフィードバックを行うとともに、引き続きICTを活用した主体的な学びに取り組んでいく。